

ハイキング委員会 表妙義縦走1回目

埼玉労山ハイキング委員会が主催する、表妙義縦走1回目を、5月9日に催行しました。
参加者は7名、無事に妙義神社からタルワキ沢のコルへの縦走に成功しました事をご報告致します。

実施にあたり、私とサブリーダーは、それぞれクライミング経験や同コースの経験もありますが、参加の皆様をより安全にご案内できるように、4月29日に下見山行も行いました。
事前にハーネス購入のご相談等もあり、今回の表妙義縦走への皆様の期待を感じて、身の引き締まる思いでした。

「道の駅みょうぎ」で装備を確認、妙義神社にお詣りして、山行の安全を祈願して縦走がスタートしました。





常に気の抜けない縦走路ではありますが、難所としては、奥の院の鎖場、ビビリ岩の鎖場、大ノゾキからの2つの鎖場の下降です。

最初に大の字の鎖場で、安全な鎖場の通過方法をレクチャー&確認しました。







奥の院の鎖場では、念のため自信が無い方は、ロープでビレイして登っていただき、自信が有る方は、スリング&カラビナ×2で鎖にセルフビレイを取りながら登っていただきました。皆様の様子を見ると、鎖場を楽しんでいるのが伺え、次のビブリ岩は全員がセルフビレイを取りながら登っていただきました。

妙義山の固有種であるミヨウギイワザクラも咲いていました。



最後の難所は、大ノゾキからの2回の下降です。
ここでは、懸垂下降の経験者には(岩登り学校の受講生も)懸垂下降で降りていただき、他の方はローワーダウンでサポートしました。

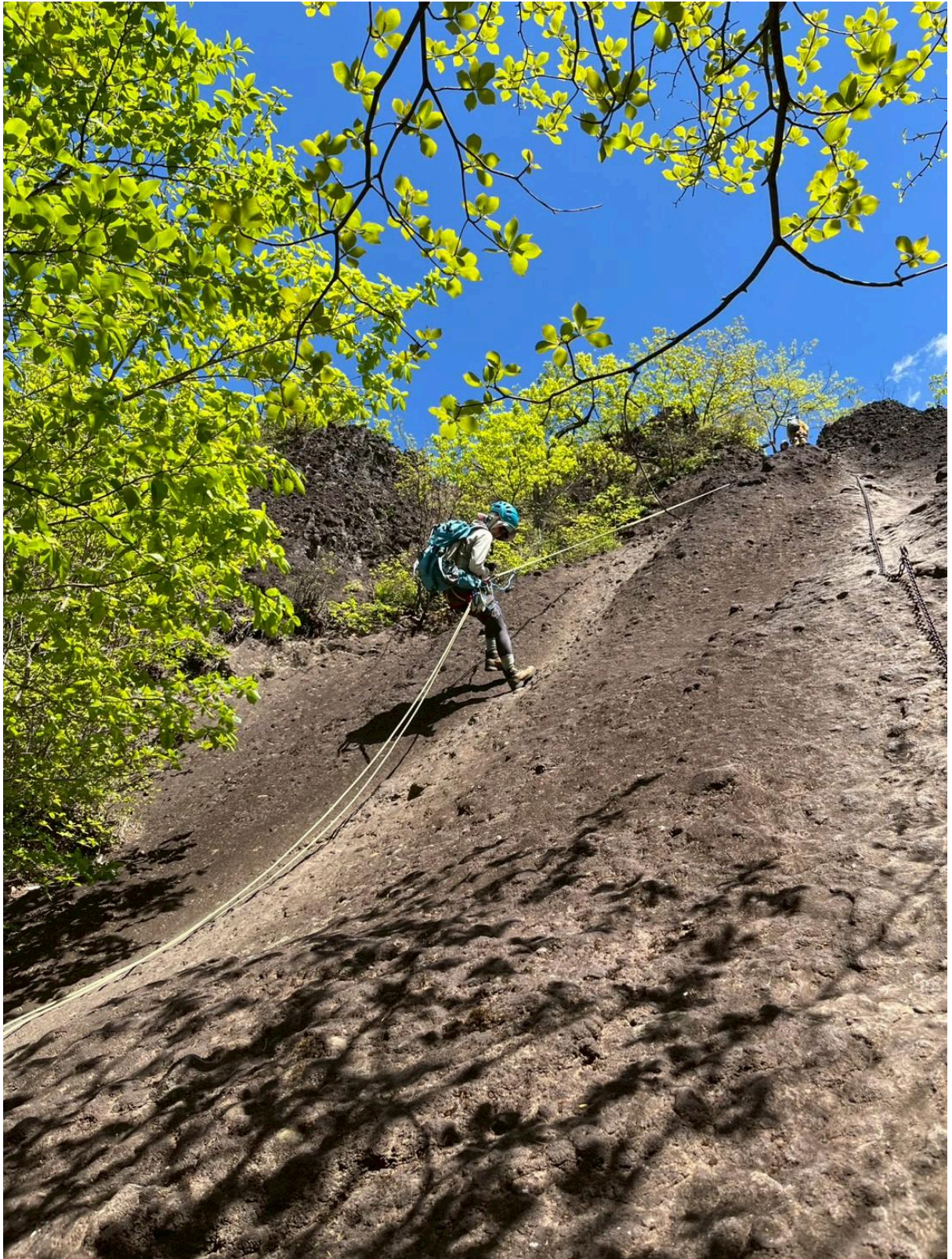




懸垂下降も、上ではサブリーダーが、セルフビレイや下降器のセットを確認し、下では私がバックアップの体制で、安全には十分に留意しました。

岩登り学校を受講された方には、実践の良い機会になったのではないかと思います。

最初のローワーダウンを怖がっていた方も、2回目には楽しむ余裕があり、対応力には感心しました。



タルワキ沢のコルから中間道に降りて、無事に表妙義縦走1回目を成功できました。



参加者の感想

自分にとってはハードルの高い山も、講師の手助けで登れる、ステップアップできるという意味においてもとても良い企画だと思う。

とても楽しい登山で、いつまでも心に残り続ける思い出になった。

当会では実施できない得難い山行であった。

秋の表妙義2回目までに、もっとスキルアップしたい。

他の会の方と知り会えて、仲間が増えて楽しかった。

この他には、今後のイベントへのリクエスト等もいただきました。

参加して下さった皆様に感謝申し上げ、今回のハイキング委員会主催、表妙義1回目のご報告とさせていただきます。

アルパインクラブNPOさいたま
宮入裕貴(L)

大宮労山
鍋倉美香(SL)